

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスいっぽ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 3 月 1 6 日 ～ 令和7年 4 月 1 5 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 7 年 3 月 1 6 日 ～ 令和7年 4 月 1 5 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4 月 2 3 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置数を多くとり充実を図っています。	障がい特性にあわせ、外出、食事、イベントなどでスタッフと1対1で関わり取り組みを行う。	職員配置だけでなく、個々の障がい特性に合わせての環境的な工夫と職員のスキルアップに取り組んでいく。
2	保護者様と子どもたちのニーズに沿った計画を作成し、職員全員が共有、理解し支援に繋げている。	日々の記録や職員全員がモニタリングを行い、個々の課題やニーズに取り組むことが出来ている。また、改善点はすぐに職員で話し合い支援に繋げることが出来ている。	個々の課題についての取り組みに対する評価を保護者様にもお伝えしているが、リアルタイムで評価を毎日伝え共有することで、よりよい関係性の構築と支援に繋げていく。
3	毎日のプログラムを作り、集団と個別両面での支援に取り組んでいる。	プログラムが固定化しないよう、子どもたちの目線の意見も『子ども会議』を開催することで意見を取り入れ実現していく。	子どもたちの意見が通ったプログラムを作り上げていくことで、もっと子ども自身が達成感を感じ、成長に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所（機能訓練室）が狭く、人数が多いとさわがしく感じたり、圧迫感を感じることもある。	機能訓練室（メインフロア）が少し狭い。	庭があるので、雨天時以外は分散することで空間的な余裕を作っている。
2	非常時のマニュアル、訓練等が保護者様に周知されていない。	保護者様向けに周知して頂けるような内容、工夫が十分ではなかった。	保護者様にも周知して頂けるようHPや毎月配布のおたより、SNSなどを活用し取り組んでいく。
3	家族支援プログラムなどが十分ではない。	年に2回の保護者様にも参加頂けるイベントを行っているが、新しい別の家族支援が必要である。	他事業所と合同で保護者様やご兄弟も参加して頂けるような企画を考え、積極的に参加をお願いしていきます。